

第10期 株主通信

〔 2007年4月 1日から
2008年3月31日まで 〕



フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

当期における新興市場は、2007年における新規上場企業数が前年比67社減の121社と大幅に落ち込み、また、上場初値が公募割れする企業も出るなど、軟調な状況が続いております。

そのような環境の影響を受け、当社の投資先企業におきまして、直近での上場を予定していた企業による上場予定時期の延期が全体的に見られました。ファンド組成におきましても、青森県にて地域型ファンドを立ち上げた他、既存地域型ファンドの総額の底上げを行ったものの、前期より募集を続けていた大型ファンドについては、機関投資家の投資マインドの減退から計画未達となりました。また、近年新設した当社運営ファンドの投資組入が進んだ結果として営業投資有価証券残高が大幅に増加しており、それに伴い、当期において投資損失引当金を大幅に積み増しました。

その結果、前期に続き2期連続の赤字となってしまう、株主の皆様には、多大なご迷惑をおかけしておりますことを大変申し訳なく深甚よりお詫び申し上げます。

今期において当社は、早期の黒字回復を目指すべく「市場環境に左右されない収益の確保」に重点を置き活動してまいります。

第一に、IPOに向けての投資育成活動を続ける一方で、未上場段階でのM&Aなども視野に入れた幅広いEXIT体制を構築し、堅実なキャピタルゲインを実現



2008年6月

代表取締役社長

川 分 陽 二

します。第二として、昨今の地域振興の風を受け根強いニーズがある地域展開について、各地域投資部の権限を強めることで意思決定の現地化を図り、より地域に密着した投資育成支援や新たなファンド組成を推し進めていきます。そして第三に、ベンチャー企業への投資育成業務を通じて培ったノウハウやネットワークを活かした、投資先企業以外へのコンサルティングやマッチングなどの投資業務以外での収益を確立します。

経営環境は未だ厳しいものがありますが、更なる効率経営を推し進め、黒字化を確保するよう誠心誠意努力する所存でございます。株主の皆様には、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当期決算を見る上での注意点

連結決算について

当社では、当社が管理運営する全ての投資事業組合を連結の範囲に含めております。これにより外部出資者の持分が連結貸借対照表、連結損益計算書に含まれます。

貸借対照表

- 自己資本比率が低下いたします。
- 総資産には外部出資者の持分を含みますが、自己資本比率は外部出資者の持分である「少数株主持分」を純資産から控除した数値で計算するためです。

(単位：百万円)		個 別	連 結
純 資 産		1,647	17,520
少数株主持分		—	15,792
総 資 産		4,049	20,230
自 己 資 本 比 率		40.7%	8.5%

損益計算書

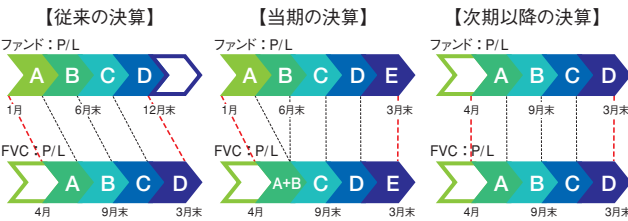
- 外部出資者の持分が売上や売上原価に含まれるため損益にも外部出資者の持分が含まれます。最終的には「少数株主利益」又は「少数株主損失」として控除されます。
- 投資事業組合等管理収入が内部取引とみなされ売上に計上されなくなります。

(単位：百万円)		個 別	連 結
売 上 高		807	376
投資事業組合等管理収入		682	—
営業投資有価証券売上高		33	281
売 上 原 価		1,211	3,727
営業投資有価証券売上原価		64	629
投資損失引当金繰入額		384	2,404
営 業 利 益 (△ 損 失)		△736	△3,717
経 常 利 益 (△ 損 失)		△788	△3,769
少数株主利益 (△ 損 失)		—	△3,104
当 期 純 利 益 (△ 損 失)		△800	△676

※本資料「事業活動」での説明におきましては、当社の業務をよりの確にご理解いただくため、主に個別財務諸表での数値を用いて説明させていただきます。

投資事業組合への出資金に係る会計処理について

当社が管理運営する投資事業組合は、決算日が当社決算日と異なるため、従来の決算では1月～12月（12ヶ月）の収益及び費用を当社の出資持分割合に応じて、FVC本体の決算（4月～3月）に取り込んでいました。当期決算におきましては、当社と投資事業組合との決算日差異を解消するため15ヶ月分（'07年1月～'08年3月）の収益および費用を当社の出資割合に応じて、FVC本体の決算（4月～3月）に計上しております。



会計方針の変更による主な影響

個 別	連 結
貸借対照表	貸借対照表
現金及び預金 171,541 千円 減少	現金及び預金 変化なし
営業投資有価証券 58,155 千円 減少	営業投資有価証券 変化なし
投資損失引当金 199,759 千円 減少	投資損失引当金 変化なし
損益計算書	損益計算書
売 上 高 10,696 千円 減少	売 上 高 11,160 千円 増加
売 上 原 価 236,144 千円 増加	売 上 原 価 変化なし
販売費及び一般管理費 350 千円 増加	販売費及び一般管理費 変化なし
営 業 損 失 247,191 千円 増加	営 業 損 失 1,066 千円 増加
経 常 損 失 247,250 千円 増加	経 常 損 失 1,066 千円 増加
当期純損失 247,250 千円 増加	当期純損失 150 千円 増加

この会計方針の変更が財務諸表に与える主な影響は、個別損益計算書において、売上原価の大幅な増加によって利益が減少したことです。当期決算では上記の利益減少を含んで記載しております。

事業活動

売上高の内訳（個別）

営業投資有価証券売上高

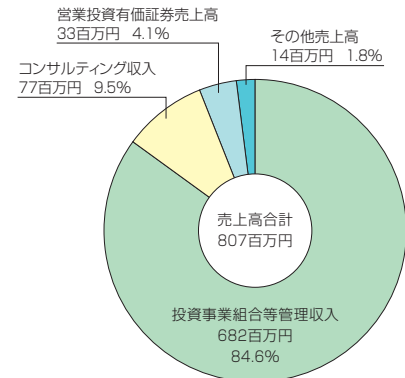
営業投資有価証券売上高には、投資育成目的の営業有価証券の売却高、受取配当金、受取利息及び営業投資目的で取得した社債の償還益等を計上しております。当期は前期に株式上場した企業の株式の売却等により33百万円となりました。

投資事業組合等管理収入

投資事業組合等管理収入には、投資事業組合等管理報酬と同成功報酬が含まれております。当期は地域型ファンドの新設等により、運営するファンドの総額が増加したため682百万円となりました。

コンサルティング収入

コンサルティング収入は、地方自治体による産業振興に対するコンサルティング業務や、他社が運営するファンドに対する投資顧問契約に基づく投資助言業務などによって構成されております。当期のコンサルティング収入は77百万円となりました。



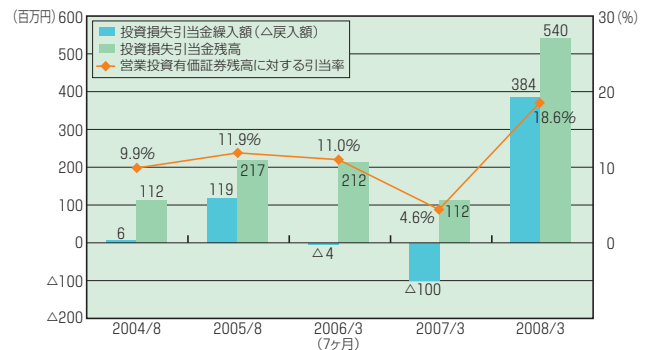
営業投資関連損益の状況（個別）

当期において、投資先企業の株式上場がなかったことから、営業投資有価証券売上高は33百万円となり、前年同期（151百万円）に比べ減収となりました。また、当期は大幅な投資損失引当金の繰入を計上いたしました。その結果、営業投資関連損失は414百万円となりました。

投資損失引当金（個別）

当社は営業投資有価証券残高に対し一定の基準で投資損失引当金を計上しておりますが、近年新設された当社運営ファンドの投資組入が進んだ結果として営業投資有価証券残高が大幅に増加しております。それに伴い、当期において投資損失引当金を大幅に積み増したため、営業投資有価証券残高に対する投資損失引当金の割合は18.6%となりました。

投資損失引当金の推移（個別）



営業投資関連損益の状況（個別）

		当 期
営業投資有価証券売上高		33,279
	営業投資有価証券売却高（上場）	3,088
	営業投資有価証券売却高（未上場）	22,944
	営業投資有価証券利息・配当金	7,246
営業投資有価証券売上原価		64,194
	営業投資有価証券売却原価（上場）	1,785
	営業投資有価証券売却原価（未上場）	34,013
	減 損 等	28,396
投資損失引当金繰入額		384,013
営業投資関連損失		414,928

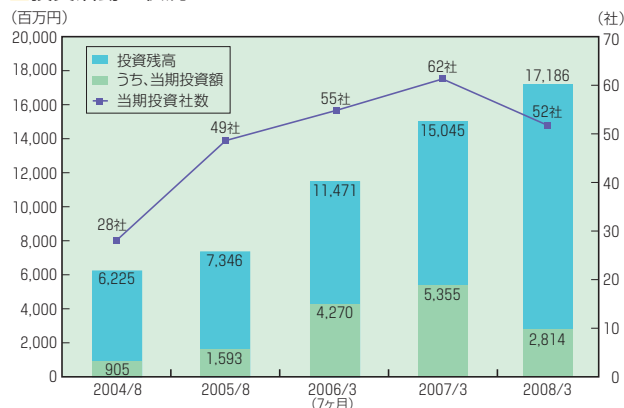
投資活動の状況

当期における当社が管理運営する投資事業組合からの投資実行は、52社、2,814百万円となりました。前期に大型ファンドであるFVCグロースファンドの投資組入がほぼ完了したことから、当期は投資社数・金額ともに前期に比べ減少しました。投資案件数は、各投資拠点における投資案件情報ネットワークの拡大により、堅調に推移しております。

この結果、当期末における投資残高は219社、17,186百万円となりました。

今後もより良質な投資案件の発掘と厳密な投資審査を行い、ベンチャーファンド募集の進捗にあわせ投資実行を進めてまいります。

投資活動の状況

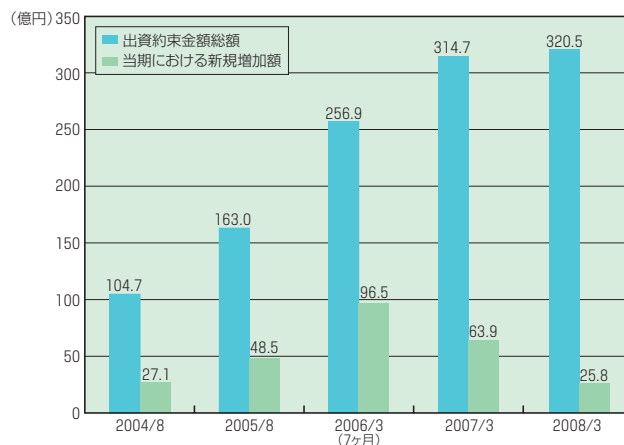


運用ファンドの状況

当期において、ファンド総額22.15億円の「あおりクリエイティブファンド投資事業有限責任組合」を新規に設立いたしました。また、既存の投資事業組合の出資約束金額が増加したことにより、当期における投資事業組合の新規増加額は2,585百万円となり、当社が管理運営する投資事業組合（子ファンド除く）は28組合、32,058百万円となりました。

なお、現在、計3基金の年金基金から出資を受け、ファンド運営を行っております。

運用ファンドの状況

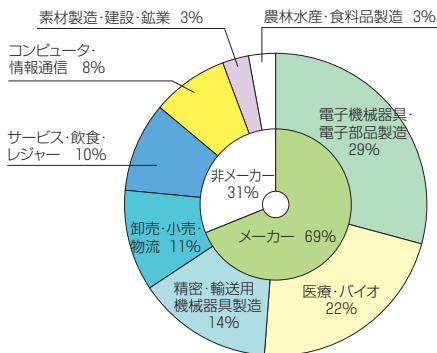
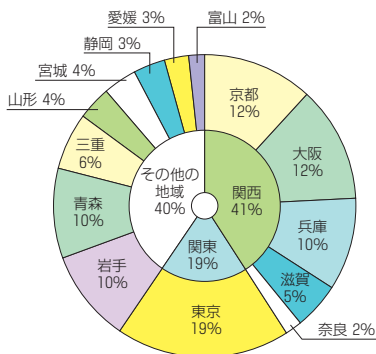
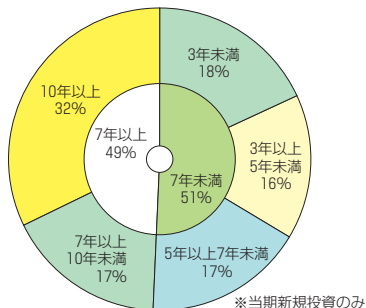


■ 当期に新設・出資約束金額の増減があったファンド

ファンド名	当期増加額	当期減少額	増減後出資約束金額
【新設】あおりクリエイティブファンド	22.15億円	—	22.15億円
堺地域振興ファンド	2.7億円	—	9.2億円
FVCグロース二号ファンド	1.0億円	20.0億円	19.0億円
合 計	増加額：25.85億円	減少額：20.0億円	

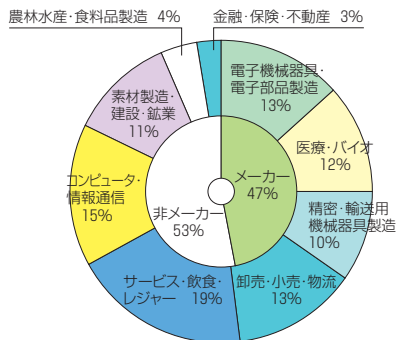
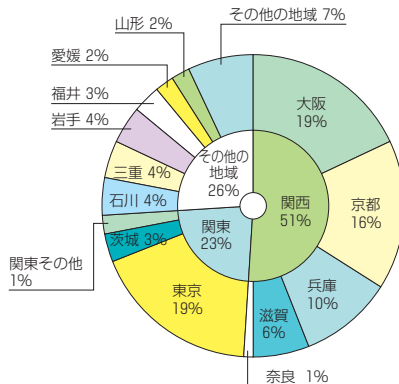
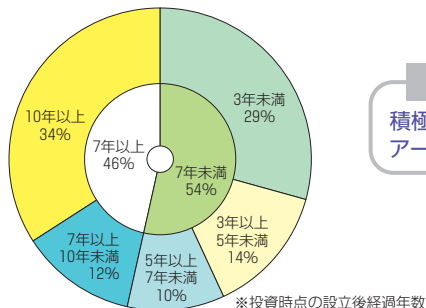
当期投資実績 (2007年4月～2008年3月)

- 当期投資金額 2,814百万円
- 当期投資社数 52社



投資残高 (2008年3月末時点)

- 投資残高金額 17,186百万円
- 投資残高社数 219社



設立年別分類

積極的なハンズオンによる
アーリーステージへの投資

地域別分類

拠点展開による
地域密着型の投資

業種別分類

日本の得意分野
ものづくり企業への投資

(注) ・グラフの各項目における構成比(%)は、小数点以下を四捨五入して算出しています。
・グラフの各項目における構成比(%)は、投資金額ベースにより算出しています。

◆ 積極的なハンズオンによるアーリーステージへの投資

当社では、リターンの源泉は「投資先企業の企業価値を高めること」にあると考え、アーリーステージといわれる高い成長余力を有する若い企業への投資を積極的に行っております。アーリーステージの企業は一般的にリスクが高いといわれていますが、当社の密接なハンズオン（経営支援）によって課題点を克服することでリスクをコントロールし、高いリターンを狙います。

当社では、より効果的なハンズオンの実施のために、投資の際にはリードインベスター（※）として支援できるかどうかを重視しており、投資残高のうちリード投資をしている企業の比率は63%となっております。また、当社の役職員を投資先企業30社に社外取締役として派遣しております。

※リードインベスター
ベンチャー企業に投資しているVCの中で、資金面や経営支援の面で中心的な役割を果たすVCの事を指します。

■ 投資育成の基本方針



FVCの投資先企業のリード投資比率[※] 63%

30社に非常勤役員として派遣しています。

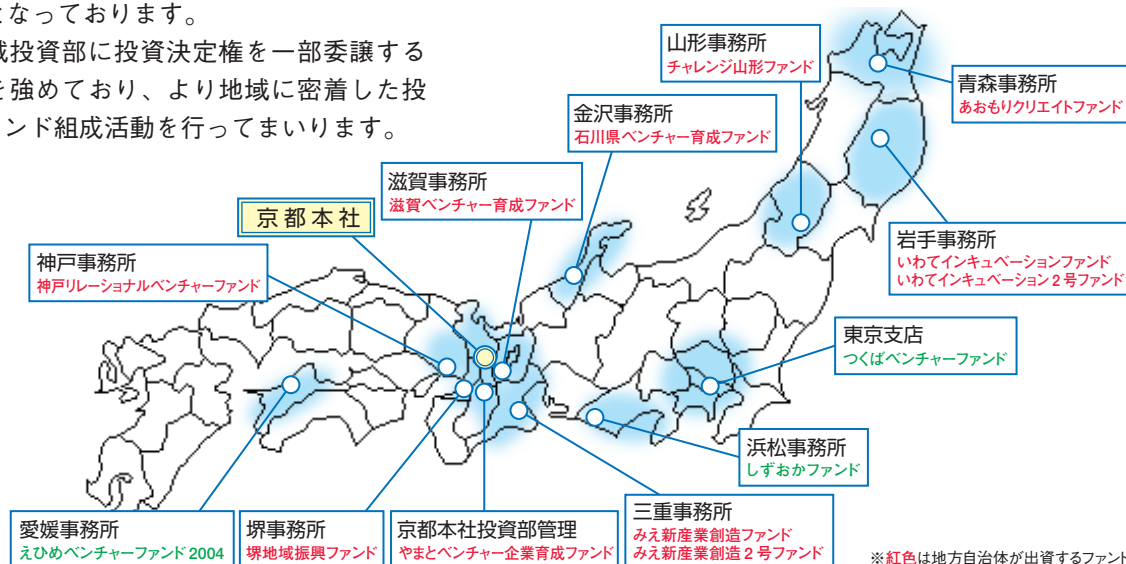
※投資残高社数におけるリード投資社数の比率

◆ 拠点展開による地域密着型の投資

当期は新しく青森市に青森事務所を設立し、これにより全12拠点体制となりました。地方自治体ファンド受託実績は11件となっております。

当期末より地域投資部に投資決定権を一部委譲するなど現場の権限を強めており、より地域に密着した投資育成活動、ファンド組成活動を行ってまいります。

■ 拠点展開状況



※紅色は地方自治体が出資するファンド

連結財務諸表

■連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前 期 末 (2007年3月31日現在)	当 期 末 (2008年3月31日現在)
(資産の部)		
I 流 動 資 産	19,787,875	20,015,806
現金及び預金	5,208,403	5,903,871
営業投資有価証券	15,045,273	17,186,040
投資損失引当金	△ 705,624	△ 3,110,596
その他の	240,234	36,611
貸倒引当金	△ 410	△ 119
II 固 定 資 産	233,654	214,472
有形固定資産	28,318	23,950
建物	18,827	17,010
工具器具及び備品	9,387	6,869
車両運搬具	103	70
無形固定資産	58,624	46,133
ソフトウェア	57,797	45,306
電話加入権	826	826
投資その他の資産	146,711	144,388
投資有価証券	7,845	7,595
従業員長期貸付金	1,775	3,775
その他の	139,576	133,017
貸倒引当金	△ 2,485	—
資 産 合 計	20,021,530	20,230,278

(単位：千円)

科 目	前 期 末 (2007年3月31日現在)	当 期 末 (2008年3月31日現在)
(負債の部)		
I 流 動 負 債	1,160,773	2,532,334
短期借入金	483,000	1,565,000
一年以内返済予定の長期借入金	196,560	231,460
預り金	322,772	624,835
繰延税金負債	28,419	17,480
賞与引当金	45,487	27,853
その他の	84,534	65,706
II 固 定 負 債	469,484	177,708
長期借入金	394,480	107,470
長期リース債務	49,153	36,894
退職給付引当金	25,850	33,343
負 債 合 計	1,630,258	2,710,043
(純資産の部)		
I 株 主 資 本	2,400,357	1,723,972
資本金	1,887,167	1,887,211
資本剰余金	601,618	601,661
利益剰余金	△ 86,135	△ 762,727
自己株式	△ 2,293	△ 2,172
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	△ 1,278	3,644
その他有価証券評価差額金	△ 1,278	3,644
III 少 数 株 主 持 分	15,992,194	15,792,618
純 資 産 合 計	18,391,272	17,520,235
負 債 純 資 産 合 計	20,021,530	20,230,278

■連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前 期 (自2006年4月1日 至2007年3月31日)	当 期 (自2007年4月1日 至2008年3月31日)
I 売 上 高	1,020,767	376,046
営業投資有価証券売上高	906,892	281,679
コンサルティング収入	101,519	77,060
そ の 他 の 売 上 高	12,354	17,306
II 売 上 原 価	1,430,577	3,727,419
営業投資有価証券売上原価	1,588,140	629,630
投資損失引当金繰入額(△戻入額)	△ 584,624	2,404,972
そ の 他 の 売 上 原 価	427,061	692,816
売上総利益又は売上総損失(△)	△ 409,810	△ 3,351,372
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	320,273	366,451
営業利益又は営業損失(△)	△ 730,083	△ 3,717,824
IV 営 業 外 収 益	22,202	8,213
V 営 業 外 費 用	22,678	59,686
経常利益又は経常損失(△)	△ 730,559	△ 3,769,297
VI 特 別 利 益	—	291
VII 特 別 損 失	506	—
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△ 731,066	△ 3,769,006
法人税、住民税及び事業税	8,484	12,166
法 人 税 等 調 整 額	△ 300	△ 0
少 数 株 主 利 益	△ 618,825	△ 3,104,700
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 120,425	△ 676,471

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	前 期 (自2006年4月1日 至2007年3月31日)	当 期 (自2007年4月1日 至2008年3月31日)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,747,738	△ 2,368,125
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 90,432	2,319
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	5,241,387	3,061,272
IV 現金及び現金同等物の増減額	403,216	695,467
V 現金及び現金同等物の期首残高	4,805,187	5,208,403
VI 現金及び現金同等物の期末残高	5,208,403	5,903,871

■連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	少数株主持分	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
2007年3月31日残高	1,887,167	601,618	△ 86,135	△ 2,293	2,400,357	△ 1,278	15,992,194	18,391,272
当 期 中 の 変 動 額								
新 株 の 発 行	43	43			86			86
当 期 純 損 失			△ 676,471		△ 676,471			△ 676,471
自 己 株 式 の 消 却			△ 121	121	—			—
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)						4,923	△ 199,575	△ 194,651
当 期 中 の 変 動 額 合 計	43	43	△ 676,592	121	△ 676,384	4,923	△ 199,575	△ 871,036
2008年3月31日残高	1,887,211	601,661	△ 762,727	△ 2,172	1,723,972	3,644	15,792,618	17,520,235

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科 目	前 期 末 (2007年3月31日現在)	当 期 末 (2008年3月31日現在)
(資産の部)		
Ⅰ 流 動 資 産	3,689,611	3,834,890
Ⅱ 固 定 資 産	233,654	214,472
有 形 固 定 資 産	28,318	23,950
無 形 固 定 資 産	58,624	46,133
投 資 そ の 他 の 資 産	146,711	144,388
資 産 合 計	3,923,265	4,049,362
(負債の部)		
Ⅰ 流 動 負 債	1,004,877	2,224,342
Ⅱ 固 定 負 債	469,484	177,708
負 債 合 計	1,474,361	2,402,051
(純資産の部)		
Ⅰ 株 主 資 本	2,443,851	1,643,666
資 本 金	1,887,167	1,887,211
資 本 剰 余 金	601,618	601,661
利 益 剰 余 金	△ 42,640	△ 843,033
自 己 株 式	△ 2,293	△ 2,172
Ⅱ 評 価 ・ 換 算 差 額 等	5,051	3,645
その他有価証券評価差額金	5,051	3,645
純 資 産 合 計	2,448,903	1,647,311
負 債 純 資 産 合 計	3,923,265	4,049,362

損益計算書

(単位：千円)

科 目	前 期 (自2006年 4月 1日 至2007年 3月31日)	当 期 (自2007年4月 1日 至2008年3月31日)
Ⅰ 売 上 高	892,955	807,165
投資事業組合等管理収入	627,193	682,364
コンサルティング収入	101,519	77,060
営業投資有価証券売上高	151,881	33,279
そ の 他 の 売 上 高	12,360	14,461
Ⅱ 売 上 原 価	638,206	1,211,452
営業投資有価証券売上原価	236,949	64,194
投資損失引当金繰入額(△戻入額)	△ 100,964	384,013
資 金 原 価	1,495	1,452
そ の 他 の 売 上 原 価	500,726	761,792
売上総利益又は売上総損失(△)	254,748	△ 404,287
Ⅲ 販売費及び一般管理費	304,634	332,638
営業利益又は営業損失(△)	△ 49,885	△ 736,925
Ⅳ 営 業 外 収 益	6,250	8,213
Ⅴ 営 業 外 費 用	22,678	59,686
経常利益又は経常損失(△)	△ 66,313	△ 788,398
Ⅵ 特 別 利 益	647	292
Ⅶ 特 別 損 失	506	—
税引前当期純利益又は 税引前当期純損失(△)	△ 66,173	△ 788,106
法人税、住民税及び事業税	8,484	12,166
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 74,657	△ 800,272

株主資本等変動計算書

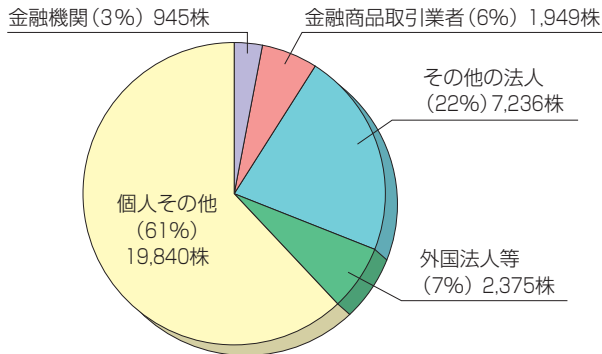
(単位：千円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	
2007年3月31日残高	1,887,167	601,618	△ 42,640	△ 2,293	2,443,851	5,051	2,448,903
当 期 中 の 変 動 額							
新 株 の 発 行	43	43			86		86
当 期 純 損 失			△ 800,272		△ 800,272		△ 800,272
自 己 株 式 の 消 却			△ 121	121	—		—
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)						△ 1,406	△ 1,406
当 期 中 の 変 動 額 合 計	43	43	△ 800,393	121	△ 800,185	△ 1,406	△ 801,592
2008年3月31日残高	1,887,211	601,661	△ 843,033	△ 2,172	1,643,666	3,645	1,647,311

株 式 デ ー タ (2008年3月31日現在)

- ・発行可能株式総数 85,000株
- ・発行済株式の総数 32,357株
- ・株主数.....1,545人

■所有者別株式分布状況



■大株主の状況

株 主 名	当社への出資状況	
	持 株 数	出資比率
川 分 陽 二	2,829 株	8.7 %
ゴールドマンサックスインターナショナル	1,820 株	5.6 %
関 西 サ ー ビ ス (株)	1,800 株	5.6 %
藍 澤 證 券 (株)	1,620 株	5.0 %
金 田 泰 明	1,229 株	3.8 %
(有) ヤ マ カ ワ	1,192 株	3.7 %
坂 本 友 群	845 株	2.6 %
金 光 富 男	580 株	1.8 %
乾 敏 行	569 株	1.8 %
鈴 木 智 博	540 株	1.7 %

(注) 1. 出資比率は自己株式を控除して小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
2. 当社は、2008年3月31日現在、自己株式を12株保有しております。

会 社 の 概 要 (2008年3月31日現在)

商 号：フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

設 立：1998年9月11日 資 本 金：18億8,721万円 従業員数：67名

本 社：〒604-8152 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659番地 烏丸中央ビル8階
 管理本部 TEL. 075-257-2511 FAX. 075-211-1601
 営業推進本部 TEL. 075-257-6656 FAX. 075-211-6965

東 京 支 店：〒101-0021 東京都千代田区外神田六丁目13番10号 ミクニ・イーストビル6階
 TEL. 03-5848-6310 FAX. 03-3831-3536
 (2008年6月30日より 上記住所にて営業いたします。)

その他拠点：青森事務所 岩手事務所 山形事務所 金沢事務所 浜松事務所
 三重事務所 滋賀事務所 堺 事 務 所 神戸事務所 愛媛事務所



〔阪急(京都線)烏丸駅22番出口徒歩2分
市営地下鉄(烏丸線)四条駅22番出口徒歩2分〕

取締役および監査役 (2008年6月25日現在)

代表取締役社長	川 分 陽 二	専 務 取 締 役	大 橋 克 己	常 務 取 締 役	木 村 美 都	取 締 役	中 山 淳
取 締 役	今 庄 啓 二	取 締 役	金 田 泰 明	取 締 役	蓮 沼 彰 良	常 勤 監 査 役	岩 坪 安 浩
監 査 役	岡 部 陽 二	監 査 役	小 川 忠 久				

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店 なお、株式関係のお手続き用紙のご請求は、以下の三菱UFJ 信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。 電話 (通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部) 0120-684-479 (大阪証券代行部) インターネットホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
公 告 方 法	電子公告 当社ホームページ (http://www.fvc.co.jp/) に掲載

「個人投資家の皆様へ」ページを開設しました

当社のホームページでは、個人投資家の皆様に向けたページを掲載しております。当社の理念や業績の見方について詳しくご理解いただこうと、ご用意いたしました。このページを通じて当社への興味を深めていただけたら幸いです。ぜひご覧下さい。

個人投資家の皆様へ● <http://www.fvc.co.jp/ir/individual/index.html>

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

〒604-8152 京都府京都市中京区からすまどおりにしきこうじ烏丸通錦小路上手洗水町659番地てあらいみずちよう 烏丸中央ビル8階
TEL: 075-257-2511 FAX: 075-211-1601
<http://www.fvc.co.jp/>